

事業計画書

当センターは、水素エネルギー新産業の育成、集積を推進する中核施設として、企業や研究機関が研究開発する水素関連製品の各種性能試験の受託試験を行うことにより、中小・ベンチャー企業等の水素エネルギー新産業への参入を支援する。また、国内初の公的水素関連製品研究試験センターとして、水素関連製品の基準化を先導するための試験研究に取り組むほか、国プロジェクトに係る試験受託を通して、水素関連産業の進展に繋がる規制見直しの取り組みを支援する。

合わせて、水素エネルギーの社会受容性を高めるため、広く水素エネルギーの普及、啓発活動を行う。

平成23年度は、産業界の2015年の燃料電池自動車普及開始を背景として、国の燃料電池自動車・水素ステーション関連技術の開発促進に向けた規制見直しや、企業等の水素製造・輸送・貯蔵システム等の関連技術・製品の開発が急速に進められることから、規制見直しに寄与する実証データの取得や企業等の製品研究開発を支援するため、次の事業を実施する。

I センター運営・管理

1 評議員会、理事会

財団の適正な運営管理を行うため、評議員会、理事会を開催する。

評議員会 2回（5月、1月）

理事会 4回（4月、5月、10月、1月）

※ 審議事項案件により開催回数の変更あり。開催月は予定。

2 センター施設、試験研究設備の維持管理

センター施設、試験研究設備の維持管理にあたっては、職員のスキルアップにより職員自らで常時最適状態を維持できる体制の整備に努める。

- ・ 高圧ガス保安検査の自己実施
- ・ 試験研究機器の自己メンテナンス
- ・ 技術職員の高圧ガス製造保安責任者（国家試験）等資格の取得

II センター事業

1 製品試験事業

民間企業等からの受託による「バルブ」、「センサ」、「流量計」など水素関連製品・部品等の性能試験を実施する。

受託試験の実施にあたっては、顧客の多種多様な試験内容に的確に対応し、利用者の信頼を高めることが重要であるため、次の点に留意して試験を行う。

- ・顧客との十分な試験打合せ
- ・試験内容に最適な条件設定や試験方法の提案
- ・各試験に適した治具、専用部品の設計及び製作
- ・入念な作業計画による安全で確実な試験の実施

<主な試験項目>

- ・耐久試験：環境、振動、圧力サイクル試験 等
- ・性能試験：耐圧・破裂、気密、ガス透過試験 等
- ・その他：顧客の製品開発の要望にあわせて実施する試験

<今後の検討課題>

顧客の要望に合わせたセンター試験設備の増強

- ・水素ガス大流量試験への対応 現状設備能力：流量15m³/分
- ・大容量容器試験への対応 現状設備能力：容量40L

2 研究開発事業

- (1) NEDO事業など国プロジェクト関連の受託試験の実施を通して国の規制見直しに貢献する。
- (2) HyTReCの主体研究として、水素供給インフラ整備促進のための国の規制見直しの具体的な取り組み状況や、産業界の製品開発の動向、ニーズを踏まえ、水素関連製品の基盤化を先導するための研究開発に取り組む。
- (3) 自主研究や共同研究の実施により研究実績を蓄積し、国プロジェクト等大規模事業の獲得や新たな顧客開拓など受託試験の拡大につなげる。

3 研究交流事業

(1) 技術展への出展

水素エネルギー関連の展示会に出展してセンター事業を広く紹介し、試験相談や商談などを行い、センターの利用促進を図る。

①水素エネルギー先端技術展2011（北九州市：西日本総合展示場）

開催時期：平成23年10月（予定）

②FC EXPO 2012（東京：東京ビッグサイト）

開催時期：平成24年3月（予定）

(2) セミナー開催

水素エネルギーに関する最新情報のセミナーや講習会を開催するとともに他機関が実施する講演会等への講師派遣を行う。

(3) 企業訪問

顧客となる企業（燃料電池自動車・水素ステーション関連企業、規制見直しに関する国プロジェクト事業実施企業 等）に対して営業訪問を行う。